

「松本市文化芸術振興審議会」第1回審議会の議事概要

- 1 日時 平成27年6月3日(水) 13時30分から15時30分まで
- 2 場所 第一応接室(本庁舎3階)
- 3 出席者 (委員) 笹本会長、花輪副会長、小松委員、宮嶋委員、瀧沢委員、倉澤委員、小澤委員、辻本委員、佐久間委員
(事務局) 寺沢文化スポーツ部長、久保田文化振興課長、原文化振興課課長補佐、村井文化振興課係長、小林主査

4 議事等

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 市長挨拶
- (4) 自己紹介
- (5) 会長及び副会長の選出
笹本委員を会長に、花輪委員を副会長に選出

(6) 諮問

(7) 議事

条例に基づき、笹本会長が議事進行にあたった。また、議事に入る前に笹本会長からあいさつがあった。

- みなさんの積極的な発言を期待する。
- 少しでも松本市がよくなるために、皆さんの発言が生きるように努めたい。

ア 事務局から「松本市文化芸術振興基本方針の見直しについて」の説明が行われた後、各委員から順次発言がなされた。

審議会のあり方及び今後の施策への反映

【委員】

- この審議会での発言がどこまで市の施策等に反映されていくのか？

<事務局>

- この審議会でも出された意見は可能なかぎり反映していく。
- 併せて庁内のワーキングやその他会議での議論との整合性を合わせながら、また委員の皆様方のご意見を反映しながら施策を展開していく予定

基本方針について

【委員】

- 今回この基本方針の見直しが11年ぶりとなっているが、このタイミングになっ

た理由は？

<事務局>

- 現在の基本方針は、5年間を見通して策定されている。本来であれば、その5年後のところで方針の見直しをするべきであったが、様々な状況により、今に至った。
- この間、文化芸術を取り巻く情勢が変化していることもあり、今回、再構築という形の中で策定をしていきたい。

【委員】

- 現在基本方針におけるこれまでの具体的な取組みの反省や課題について教えてほしい。

<事務局>

- 現在、この審議会とは別に庁内の組織を立ち上げており、その中に2部会のワーキンググループを設置して、これまでの事業に対しての評価及び検証を実施している。その成果及び課題については、第2回目の審議会の方にお諮りする予定

【委員】

- 分野目標等について、「文化芸術振興施策の総合的な推進に関する目標」、「文化芸術活動…」、「文化芸術を…」とあるが、これが、本当に文化芸術か疑問を感じる。
- 文化芸術を議論する上で「松本って何なんだ」、「松本市らしさって何なんだ」ということも議論・確認しておくことが大事だと感じる。

イ 松本市の文化観光資源の特徴をまとめたDVD「美しく旅する。～信州松本3日間の旅～」を上映

DVDへの意見及び感想

【委員】

- 松本に住んでいるが、意外とまだまだ関わってない部分もある。また、松本は色々文化芸術に触れる機会が多いと改めて感じる。
- DVD作成時期はいつか？

<事務局>

- DVDの作成は、平成27年2月。松本の見どころ、松本のシティプロモーションとして各方面へ松本を発信するために作ったもの

【委員】

- このDVDは外部向けの印象を受ける。「松本山雅」や「松本ぼんぼん」が出てきていない。「松本ぼんぼん」の後ろには古くから「ぼんぼんと青山様」というきちんとした文化があるが、これも出てこない。足りないものもいっぱいある感じがする。
- すごくテーマが多すぎて、これを全部見終えたとき、何も印象に残らないと感じた。今後、文化芸術振興基本方針の見直しを検討していく中で、いかに焦点を絞るかということが課題になると感じた。

- 正直何がなんだか分からなかった。自分はまだ上高地へ行ったこともないし、正直奈川っていう地区もこの DVD を見て初めて知った。
- 今の DVD ですが、あれは主にどこで上映をされるものなのか。今までどこで上映をされてきたのか？

<事務局>

- 基本的には、市外でそもそも松本というまちを知らない人たちが多いような九州地域などでシティプロモーションを展開するために作成したもの

【委員】

- 今まで市でやってきた、サイトウ・キネンや歌舞伎とか様々な努力が、そしてそれらの大きなものを見て、「松本っていいわね」と言ってくれる方が多い気がする。
- 今、小中学校で美術や音楽の時間が減らされていて、受け持つ先生も専門でない先生が来て担当を持たされているということ聞いた。子どもの想像力、創造性を養うとか芸術的な感覚を養うというのが、この基本方針にあるが、そういった点がちょっと疎かになっているのかといった心配を持った。
- 作られている DVD が、20 代や 30 代の方が見たときに、素敵なまちに見えるかどうか疑問に感じた。
- 20 代や 30 代の方が来た時に、もっと拠点のコーナー、例えば雰囲気の良いカフェや、ライブ会場、本屋さんとか、「ちょっと一般的に触れられるもの」が、「文化」だと思う。
- まちの人たちにもう少し寄り添ったような、一緒に何かをできていくような基本方針を作りたい。
- まつもと市民芸術館があるが、どうしても行きたかったコンサートだったので、託児をお願いし、コンサートに行った。その時、託児は、私の子ども 1 人だけだった。もっと PR をして託児を利用していただければいいのではないか。
- 「文化と呼ばれるもの」「松本らしさと呼ばれるもの」というのと、「文化とを感じるもの」「松本らしさを感じるもの」とを区別した方がよいと思う。
- 今回は、文化芸術振興基本方針を定めるのであって、作るというプロセスにどう私たちが関わり、フィードバックできるのは何なのというところを議論するのがいいのかなと思う。
- 映像の中に、奈川在来とかの蕎麦があった。奈川の人たちが蕎麦なんて本当は食べなくなかったらうけど、それしか育たないから食べざるをえなかった。そういう中で長年かけて色々品種改良を行ってきて「在来」と呼ばれて、今それだけ希少で香り豊かで弾力性があるって女優さんおっしゃっていましたが、そういう蕎麦ができています。そのプロセスってたぶん文化だったと思う。
- 文化として「暮らしの中の文化」。中町もまち並みが火事になって蔵造りにしたと。現在は、街並み環境整備事業とか住民の方々がまち並みを意識して「なまこ壁」と

いうひとつのデザインコードを共有すると、こんどは本物のなまこ壁と新しいなまこ壁が増えてきたりするようなこともある。それがいい悪いではなく、それも文化をひとつ象徴しているものではないかと思う。

- 今から 31 年前にクラフトフェアというものが始まって、当時は自分たちが文化だなんて当然思ってもいないし、逆に文化をぶち壊す人々が集まってフェアを始めたが、30 年経過し、「クラフト」って松本らしいよねと言われている。
- 松本城も、人や技術などが外からきた。洪水から守るお堀を造成する技術も全く新しい最先端を外から持ってきた。それで作られている。それが今はもう松本らしさといわれている。そういったことは、大事に考えなければいけないと思う。
- 住みにくい、不具合があるというところに文化が生まれると思う。例えば、漱石が「草枕」に書いてあるように、生きにくいからこそ詩が生まれる。利便性ばかりでは文化なんて生まれえないと思う。
- 文化そのものが定義もみんな違っている。しかし、今回の審議会では、ある程度の方向性や理想とすべきものを持ちながら、基本方針の見直しができたらいらと思う。

ウ 事務局より「文化芸術振興基本方針の見直しの進め方について」の説明が行われた。

【委員】

- 議事録は、市民にむけて公開されるのか。議事録の体裁について、事務局で検討してほしい。
- この会議もオープンな会議なのかそうでないのかも、実は見えない。

<事務局>

- 会議や議事録は原則公開で考えているが、次回、委員の皆様の意見をおききして対応していきたい。

(8) 閉会

次回審議会等の日程が確認され、閉会となった。